

# 第10回八戸市公民館特別企画演劇公演

演出 三浦哲郎 / 脚本・演者 梶谷伸夫 / 墓獅子 鮫神楽連中 / 舞台装置 木村勝一

旧盆、鮫神楽の「墓獅子」の音曲に誘われて

30年前に亡くなった漁師 吉田正吉が戻ってきた

彼は海胆・鮑漁を中心とする海士(かじき)だった

彼が語る明治・大正・昭和の漁村 鮫村

沿岸漁業が盛んで活気に満ちていた漁村 鮫村

近代化のなかって大きく変わった八戸湾

それにもなつて変わらざるを得なかった漁村 鮫村

単なる海沿いにある村 海村に変わらざるを得なかった

風よ おまへは

確に人間だけを吹いてゐる時がある

村次郎詩集『風の歌』序

～老漁師 吉田正吉が語る 鮫村異聞～

— かいそん —

# 海村

詩人 村次郎と故 塚原隆市氏・阿部幹氏に捧ぐ

演劇人 梶谷伸夫 最後の『海村』

令和6年8月の東京公演を経て今もなお再演を熱望される、  
梶谷伸夫渾身の一人芝居！

『海村』上演前

鮫神楽連中による『墓獅子』を披露します。

1日目(夜公演)

令和7年 5月30日(金)

19:00 開演 / 18:30 開場

2日目(昼公演)

令和7年 5月31日(土)

14:00 開演 / 13:30 開場

■公演会場

SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公民館ホール)

■入場券 (自由席/税込) ※未就学児入場不可

一般: 2,000円 (当日 2,500円)

高校生以下: 1,000円 (当日 1,500円)

※前売りで完売した場合、  
当日券販売は行いません。

■チケット販売所 ※各売場とも、お電話での予約はできません。

八戸ポータルミュージアムはっち、ラピア インフォメーション

八戸市民劇場、八戸市南郷文化ホール

SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公会堂)

GETTIIS (ゲッティーズ・Web 販売) <https://www.gettiis.jp/> [販売ページ](#)



主催: SG GROUP ホールはちのへ  
[指定管理者: (株) アート&コミュニティ]

【お問合せ】 SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公民館) TEL: 0178-45-1511  
〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1

[会館ホームページ](#)





昨年8月。両国シアターX(カイ)での東京公演終了。  
 帰八後、たくさんの方々から「榎谷さん、八戸でも絶対やってください」という声を頂戴した。  
 モデルの祖父が亡くなったのは77歳。僕も今年ちょうど77歳。「海村」の最後の公演に相応しいと思った。  
 この作品は、詩人・村次郎の詩集「海村」に触発されて創作したもの。  
 公演を観ることなく死去した東京公演を発案した塚原隆市氏。また、初演以来、ず〜っと応援し続けてくれた阿部幹氏も死去。  
 このお二人のためにも、正に集大成の舞台を、彼らに捧げ、幕を降ろそうと思う。

榎谷 伸夫

村次郎詩集『海村』より  
 北國海村行 その5

返へせ  
 返へせ  
 岩礁から離れて去ったもの達を  
 魚族に生活はありえたか  
 魚族に墓場はありえたか  
 或る地點から 或る地點への  
 波達の変轉 移動 反復  
 流される砂 流される意志  
 足跡の不確實さ お前の不確實さ  
 返へせ  
 返へせ  
 漁民から離れて去ったもの達を  
 漁民の生活はありえたか  
 漁民の墓場はありえたか  
 何を生き  
 何が生きたのだ



詩集『海村』より  
 つなみ  
 海嘯

海洋が 陸地を襲ふ  
 然り 海洋が陸になるのだ  
 海洋が 陸地を侵す  
 然り 否  
 陸地が海洋になるのだ  
 海中の人間たちの屍  
 陸上の魚族達の屍  
 ああ 海洋の疑似平和  
 人間の  
 その假面 その亡失  
 何があるのだ 阿鼻  
 何をしたのだ 叫喚  
 何があったのだ地獄  
 不意の静寂  
 不意の虚無



鮫神楽「墓獅子」

「墓獅子」はかつて各神楽で演じられていたが、明治政府の神仏分離令によって廃れ、現在は鮫神楽のみに残されている。歌と獅子頭が生者と死者の交流の媒体として呪術的な役割を果たしている。神仏混交の名残をとどめ全国的にも貴重なもの。

毎年8月14日・15日、鮫の墓地で、依頼者の求めに応じて供養のために墓前で舞われている。



第10回八戸市公民館特別企画演劇公演『海村 - かいそん - 』

令和7年 5月30日(金)・31日(土)  
 19:00 開演 14:00 開演

『海村 - かいそん - 』情報ページ

詩人村次郎や故塚原隆市氏、故阿部幹氏のプロフィールなどを順次公開予定。  
<https://hachi-kokaido.com/2025/03/post-45.html>

会館ホームページ内  
 「海村」情報ページ

